



筆洗(日本画・水彩画用)

ひっせん (にほんが・すいさいがよう)



プラスチック製筆洗



家庭用バケツ (写真左)・陶磁製筆洗 (写真右)



携帯用筆洗 (写真左より 蛇腹式筆洗・ビニール製筆洗・組み立て式筆洗)

概要

筆洗(ひっせん)は、絵具で汚れた筆や刷毛を洗うための器で、日本画、水彩画、アクリル画等の水溶性絵具で用います。

制作する状況により、容量、携帯しやすさ等、用途別に様々な種類の筆洗があります。

室内で制作する場合は、家庭用バケツを用いるとたっぷり水が入り、幅広い刷毛も洗いやすいです。机上に筆洗を置く場合は、仕切りがあり2、3の槽に分かれている筆洗が一般的です。プラスチック製の他、日本画用として白い陶磁製のものがあります。どちらも用途にさほど違いはありません。仕切りがあるものは、暖色と寒色、汚れた水ときれいな水等、槽によって使い分けすることができます。

屋外でスケッチする場合には、ビニール製で折りたためるもの、プラスチック製の組み立て式のもの、ジャバラ式の伸縮するもの等、かさばらず携帯しやすい筆洗があります。また、水を汲めない所では、蓋付きの広口の瓶などに水を入れて持って行く等して工夫します。このように画材として市販されている筆洗に限らず、水が入られるものなら代用できます。

大切なことは、用いる絵具を濁らせないように、なるべくきれいな水を用いることです。そのためには、筆洗の水が汚れたら入れ替えるようにしましょう。

筆洗は一般的な画材店で購入できます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字